

TES会中部支部 第130回クレーム事例勉強会

検討年月日	2018/10/19		Cグループ					
品名(写真)	オレンジ色タンクトップ							
	組成	取 扱 い 絵 表 示	103	201	301	401	501	601
	コットン 100%		104	202	302	402	502	602
			105		303	403		603
			106		304			604
			107					
			ネット					
			無蛍光		あて布			
			中性					
申し出クレーム内容	1回着用後、洗濯したら襟ぐりから見返しが飛び出てきた							
クリーニング処理法	家庭用洗濯機にて水洗い処理後、吊干し乾燥							
グループ検討内容	・見返し幅が狭い ・襟ぐりの表側からコバステッチを入れていない(アームホールにはコバステッチがしてある) ・伸び止め用に使われている芯地はタテ編みのニット芯地である ・本体とニット芯地の地の目が同方向なので伸びてしまい、芯地が伸び止めの意味をなしていない ・デザイン上の問題は別として、パイピング仕様にすれば防げる [推察] 上記の理由から、原因は製品のデザイン及び縫製仕様に問題があったと思われる							
検査機関検討内容	観察: 見返しの飛び出しは首周りの4ヶ所に発生している。飛び出しは縫製によって固定されていない部分に発生している。カーリングの様に見えるが前身側は平坦であり、後身側は折れた状態である。その他の箇所に発生は見られない。 推測: ①洗濯前の状態はアイロン処理によって成形されていた。洗濯によって崩れ、緩和された。 以上のことから、見返しの飛び出しはアイロン処理による成形は行っていたものの、縫製で固定していなかったために洗濯で緩和されたものと推測される。アームホールや裾に発生していないのは縫製によって固定されているためと推測される。 原因: 製品の縫製不足。 再現試験: 洗濯によるカーリングの有無(平滑な生地を湿潤させ、乾燥後にカーリングが発生するのか)							